

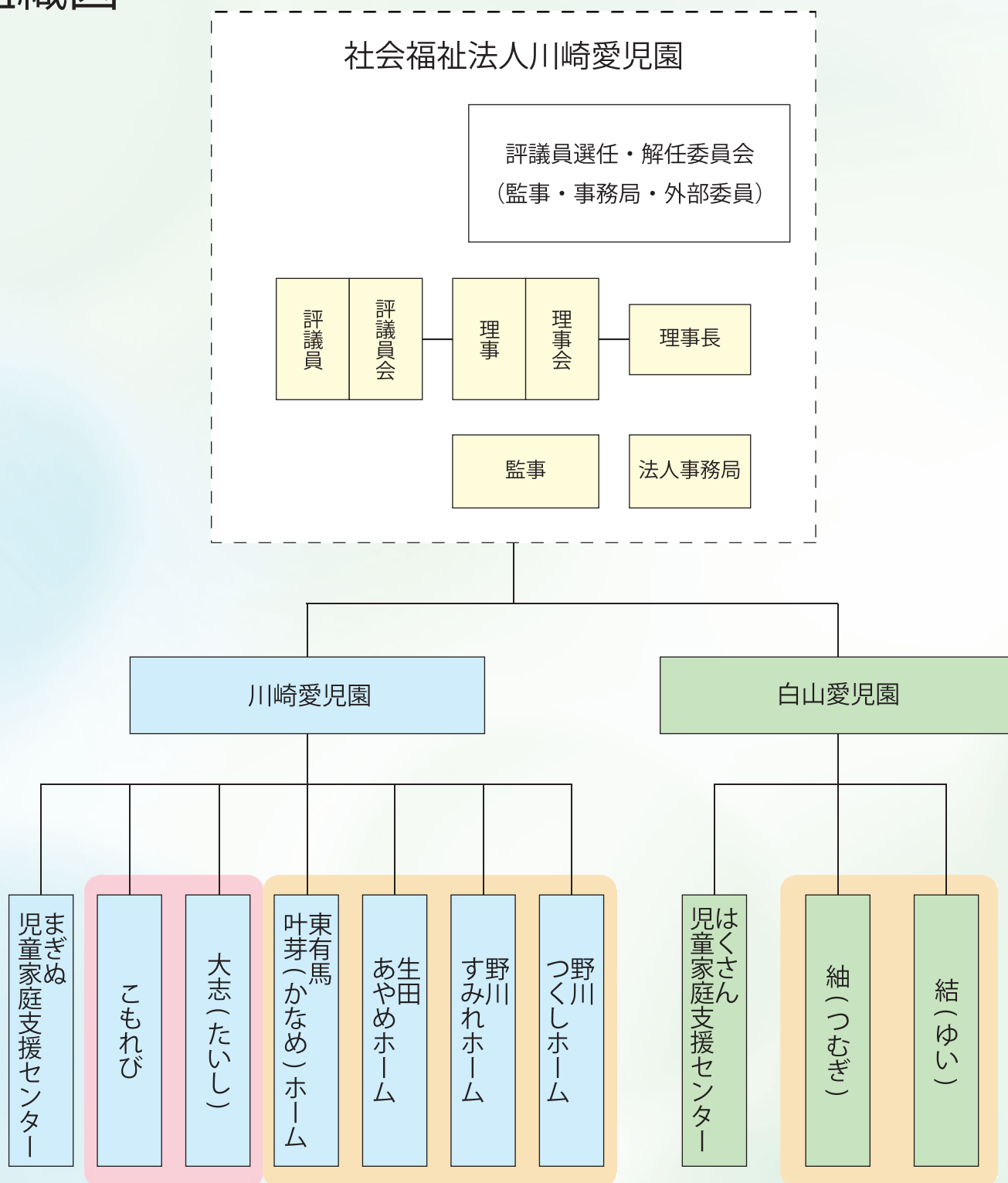


社会福祉法人

川崎愛児園



組織図



川崎愛児園の頭文字「K」と「A」を組み合わせました。

「K」と「A」の間の青い部分は、和文様の「千鳥」です。「千鳥」は語呂合わせで「千鳥＝千取り⇒千の福を取る」ということから、「たくさんの幸せがやってきますように」という意味があります。子どもたちにたくさんの幸福がもたらされることを願うロゴマークです。

また、帆船をイメージさせるモチーフには「海原に漕ぎ出す」という想いも込められています。

当法人は、長年に亘り子どもたちの福祉のために尽力してきました。
子どもたちの健やかな成長と地域の子育て家庭を支え、地域社会の福祉に貢献します。

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切にし、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また地域社会の中で「将来を担うこどもたち」への質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

- 「命を大切にする心」
- 「地域の中での養育と子育て支援」
- 「健全な経営」

施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切にする心を持ち、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。
また、施設機能の専門性を活かし地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

- (1) あいさつの正しくできる人に
- (2) 健康な体と心をもてる人に
- (3) 人に好かれ社会に役立つ人に
- (4) 感謝の気持ちをもてる人に
- (5) 人との調和がとれる人に
- (6) 思いやりのある人に
- (7) 基本的な生活や自立した生活が出来る人に

沿革

昭和 28(1953) 年 6 月

創設者 宮崎勢喜氏が個人で
幼児主体とする養護施設を設立 (中原区上丸子)



昭和 50(1975) 年 9 月

園舎建設の為、個人経営主体を改組し
法人格の社会福祉法人設立を図る

昭和 52(1977) 年 9 月

園舎竣工 (宮前区馬絹)
養護施設『川崎愛児園』を開設

昭和 52(1977) 年 12 月

鈴木良雄施設長 就任



昭和 51(1976) 年 2 月

社会福祉法人『中原愛児園』の認可を得る

昭和 51(1976) 年 12 月

仮園舎に移転 (宮前区馬絹) 園舎新築工事着工

昭和 53(1978) 年 12 月

社会福祉法人『川崎愛児園』へ改称



昭和 60(1985) 年 12 月

養護施設『川崎愛児園』増築工事

平成 17(2005) 年 7 月

野村隆 理事長 就任

平成 17(2005) 年 8 月

白戸隆 施設長 就任

平成 21 年 (2009) 年 4 月

高津区に地域小規模児童養護施設
『野川すみれホーム』を開設

平成 21 年 (2009) 年 7 月

川崎区に川崎児童自立援助ホーム
『大志 (たいし)』を開設

平成 10(1998) 年 4 月

児童福祉法改正により「養護施設」から
「児童養護施設」となる

平成 20(2008) 年 4 月

宮前区に地域小規模児童養護施設
『野川つくしホーム』を開設

平成 22(2008) 年 6 月

多摩区に地域小規模児童養護施設
『生田あやめホーム』を開設



平成 25(2013) 年 3 月

麻生区に
(仮称) 北部総合児童福祉施設
(現 総合児童福祉施設『白山愛児園』) 新築工事着工



平成 26(2014) 年 3 月

総合児童福祉施設『白山愛児園』 竣工

平成 26(2014) 年 4 月

総合児童福祉施設『白山愛児園』を開設
『はくさん児童家庭支援センター』を開設
地域交流スペースを開設
霜倉博文施設長 就任

平成 26(2014) 年 11 月

児童養護施設『川崎愛児園』 改築工事のため
仮設園舎 (宮前区けやき平) に移転



平成 27(2015) 年 1 月

児童養護施設『川崎愛児園』 改築工事着工



平成 28(2016) 年 4 月

児童養護施設『川崎愛児園』新園舎 竣工

平成 28(2016) 年 5 月

児童養護施設『川崎愛児園』新園舎へ移転
『まぎぬ児童家庭支援センター』を開設



平成 29(2017) 年 6 月

麻生区に地域小規模児童養護施設
『結 (ゆい)』を開設

平成 31 年 (2019) 年 6 月

川崎児童自立援助ホーム『大志』を
川崎区から麻生区へ移転

令和 3(2021) 年 4 月

麻生区に川崎児童自立援助ホーム
『こもれび』を開設

麻生区に地域小規模児童養護施設
『紬 (つむぎ)』を開設

令和 3(2021) 年 6 月

野村隆理事長 退任
白戸隆理事長 就任



令和 6(2024) 年 4 月

川崎児童自立援助ホーム『大志』を
麻生区から宮前区へ移転
宮前区に地域小規模児童養護施設
『東有馬 叶芽 (かなめ) ホーム』を開設

社会福祉法人
川崎愛児園

事業所 MAP



地域小規模児童養護施設
生田あやめホーム



川崎児童自立援助ホーム
こもれび



地域小規模児童養護施設
結 (ゆい)

総合児童福祉施設



児童養護施設 白山愛児園

住 所：川崎市麻生区白山1-1-5
連絡先：044-712-4071
F A X：044-712-4074

はくさん児童家庭支援センター
連絡先：044-712-4073



地域小規模児童養護施設
紬 (つむぎ)

法人本部へのご連絡はこちら



児童養護施設 川崎愛児園

住所：川崎市宮前区馬絹 1-24-5
連絡先：044-855-2591
FAX：044-865-4445

まぎぬ児童家庭支援センター

連絡先：044-863-7855



地域小規模児童養護施設
野川すみれホーム



地域小規模児童養護施設
野川つくしホーム



川崎児童自立援助ホーム
大志 (たいし)



地域小規模児童養護施設
東有馬叶芽 (かなめ)
ホーム

児童養護施設

様々な理由により家族と一緒に暮らすことができない子どもたちを児童相談所を通してお預かりし安全で安心できる生活環境の中で心身ともに健やかに成長できるように支援する施設です。

川崎愛児園



白山愛児園



川崎愛児園・白山愛児園両施設とも施設内に日光が注ぎ、あたたかい雰囲気が感じられます。子どもたちはマンションタイプの居室で生活しています。リビングでは食卓を囲み、職員が作るあたたかい手料理を食べながら楽しい時間を過ごします。静かに自分の時間をもちたい時には、自分の個室で落ち着いて過ごすこともできます。職員は、子どもたちの想いを大切に寄り添いながら皆で子どもたちの成長を支えます。



ダイニング

畳の部屋



リビング

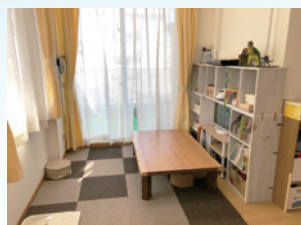
個室



川崎市委託事業 子育て短期利用事業（ショートステイ・デイステイ）

保護者の病気や出産、育児疲れなどにより、ご家庭で一時的にお子さんの育児が困難な場合に、原則6泊7日以内でお子さんをお預かりします。

日中預かり（デイステイ）、宿泊預かり（ショートステイ）があり、川崎愛児園・白山愛児園では2歳から小学生のお子さんを受け入れています。ご利用は担当区の児童家庭支援センターが窓口となり、事前の登録面談が必要となります。



川崎愛児園



白山愛児園



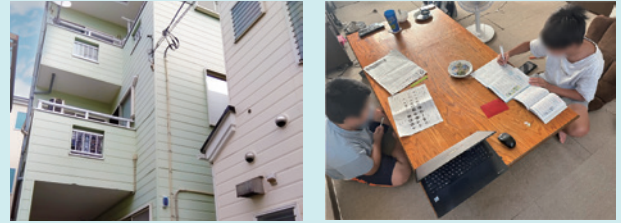
地域小規模児童養護施設

地域の住宅を借り、子どもたちと職員が生活しています。
町内活動やお祭りなど地域と密接に関わりながら、『家庭』を意識して子どもたちの成長を支援しています。

野川つくしホーム



野川すみれホーム



生田あやめホーム



東有馬叶芽（かなめ）ホーム



結（ゆい）



紬（つむぎ）



川崎児童自立援助ホーム

15歳から20歳を対象として、社会に適応し自立した生活を営む力を養う施設です。
法人独自の青年期自立支援事業にも取り組んでいます。

大志（たいし）



こもれび



児童家庭支援センター

0歳から18歳のお子さんがあるご家庭のための専門相談機関です。地域にお住まいの家庭から子育てに関する相談を受け、必要に応じた支援を行います。他の支援機関とも連携し、地域で保護者とお子さんが安心して過ごせるよう子育てをサポートするセンターです。

また、川崎市子育て短期利用事業（ショートステイ・デイスティ）の相談窓口としても相談を受け付けています。当法人では、まぎぬ児童家庭支援センター（宮前区）、はくさん児童家庭支援センター（麻生区）の2センターを運営しています。

はくさん児童家庭支援センター



電話：044-712-4073

受付時間 / 月～金 9:00～18:00

※ 祝日・年末年始を除く

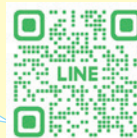
主な担当区 / 多摩区・麻生区

利用料金 / 相談無料

所在地 / 川崎市麻生区白山1-1-5

※ 小田急小田原線 新百合ヶ丘駅からバス10分

LINEやInstagramで
イベントなどのお知らせ
をお送りします



地域のお子さんやその保護者の方にとって楽しめる場所、学べる場所、居場所になるような子育てスペースや講座などを実施しています。

ママン

就学前のお子さんと保護者の方を対象にした子育て広場です。玩具のたくさんある空間で遊びながら、親子でゆっくり過ごすことができます。相談員がおりますので、お子さんの様子を見ながら、育児に関する相談もできます。



はお

相談に来られている小・中学生のグループ活動です。小学生は放課後、中学生は学校が休みの日に集まり、宿題や工作、運動遊び、おやつ作りなどお子さんの課題に合わせた活動を行っています。



親オヤ講座

発達が気になるお子さんの保護者や支援者のための講座です。子どもへの理解、日頃の育児のヒントにつながるような専門的な講師の方々による講座です。



まぎぬ児童家庭支援センター



電話：044-863-7855

受付時間 / 月～金 9:00～17:00

※祝日・年末年始を除く

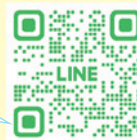
主な担当区 / 宮前区・高津区

利用料金 / 相談無料

所在地 / 川崎市宮前区馬絹 1-24-5

※東急田園都市線 宮前平駅から徒歩 8 分

LINE や Instagram で
イベントなどのお知らせ
をお送りします



地域の子育て中の保護者の方やお子さんに楽しんでいただける・子育てのヒントになるような親子カフェ・講座などを随時実施しています。

親子カフェ

親子を対象とした様々なイベントを開催しています。地域で親子が孤立しないよう、児童家庭支援センターを知ってもらい、地域の親子が繋がる機会となることを目的に開催しています。

親子で楽しめるイベントや保護者向けの講座、ワークショップを実施しています。



親子広場

乳幼児の親子が自由に利用できる広場です。絵本やおもちゃ、地域の情報をご覧いただけるスペースもあります。専門職スタッフが常駐していますので、ちょっとした子育てに関するご相談も可能です。



夏休みフリースペース 「カムカム」

夏休み期間中に週 1 回程度開催している、小学生を対象としたフリースペースです。

みんなで宿題をしたり、昼食やおやつを食べたり、製作や調理などちょっとした活動も行っています。

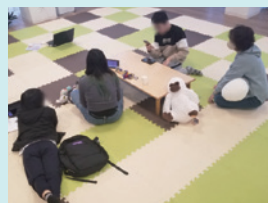


中高生居場所支援

くつろぎルーム「シルクポニー」

数カ月に 1 回程度、中高生が自由に過ごせるフリースペースを開放しています。ボードゲームや、日によってちょっとしたおやつもご用意しています。

誰かと話してもよし、家庭や学校とは違った場所でのんびり過ごすも良しのスペースです。



居場所づくり事業

当法人では保護者と共に地域全体でお子さんを育てていくため、学校や家庭とは違う第三の居場所として学齢児向けの居場所づくりを行っています。放課後に学習や余暇、食事の提供などを行い、地域ボランティアの皆さまを交えながら過ごし、保護者と一緒にお子さんの成長を見守れるよう繋がりを育てています。

川崎市委託事業 すえっ子広場

平成 29 年度より川崎市からの委託を受け、高津区内で小中学生を対象に「川崎市学習支援・居場所づくり事業」を週 2 回実施しています。

地域住民や学生を中心としたボランティアの皆さまと共に、お子さんに合わせた学習を行い「できた!」という体験を共有しています。
余暇活動では近隣の公園にでかけたりボードゲームをしたりして過ごしています。



公益事業 こども広場 あいあい

すえっ子広場での経験を活かし、より地域のニーズに柔軟に応えたい思いから、当法人独自の取り組みとして小学生を対象とした放課後の居場所を週 1 回、川崎愛児園地域交流スペースで実施しています。

川崎愛児園とご縁のあった近隣地域の皆さまの協力を得て広報を行い、多くのボランティアの方々を中心に運営しています。親子で参加できるイベントもあり、様々な体験をしながら過ごしています。



地域交流スペース

地域の方々のコミュニティ活動・自治活動・ボランティア団体・福祉団体の活動などにご利用いただけるスペースです。

※ご利用にはご予約が必要です

※利用規定や注意事項があるため、各施設に事前にご相談ください。

川崎愛児園



お問い合わせ先
044-855-2591

ママサークルや地域のスポーツチームのミーティング、高齢者のコミュニティカフェなど様々な団体・地域の方にご利用いただいています。



お問い合わせ先
044-712-4071

子ども図書館やハンディをもつお子さんのママのためのサークル、地域のスポーツチームのミーティングなど様々な団体・地域の方にご利用いただいています。

白山愛児園



ボランティアとの関わり

当法人は様々なボランティアの皆さまに支えられています。
子どもたちとふれ合い、余暇などを一緒に過ごしていただく交流ボランティア、宿題やテスト対策など一緒に学習をしていただく学習支援、その他当法人が行う地域支援活動などにご協力をいただいています。
個人での活動はもちろん、団体様にも様々な形でご活躍をいただいています。

自立への支援



図書貸し出し



夏季交流



冬季交流



プログラミング教室



工作教室



愛児園まつりブース出展



音楽ワークショップ



収穫体験



ダンスワークショップ



朗読会



たけのこ掘り



当法人の運営や活動にお力添えをいただいている皆さまと、
地域協議会やボランティア協議会を行っています。

施設の取り組みや地域の課題を共有し、当法人が「地域の一員としてできることは何か」を一緒に考え、より良い施設・地域を目指して取り組みを進めています。



地域とのつながり

■地域生活支援 SOS かわさき事業（公益事業）

市内の各法人・施設の専門性を横に繋ぐと同時に、市内各相談機関をはじめとする社会資源とも連携を図りながら、「制度の狭間・谷間」を含めた生活課題に取り組んでいく、ネットワーク型事業です。

当法人は制度で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献にも積極的に取り組んでいます。具体的な取り組みの一つとして、収入減少や失業などにより生活に困る方に食糧を届ける「食糧支援かわさき（食かわ）」では、地域からお預かりした食糧品を保管するパントリーを設置し、より必要な世帯に支援を届けるためのイベント等にも参加しています。

高齢、障害、保育、児童等、分野を横断して地域内の情報交換を行い、地域課題に対してネットワークで対応しています。



■川崎愛児園まつり・白山愛児園まつり

当法人は地域の皆さまのご理解とご協力に支えられ、今日まで歩んできてくることができました。

感謝の気持ちを伝える機会として、一年に一度『川崎愛児園まつり』『白山愛児園まつり』を開催しています。

来園された方に楽しんでいただくとともに、皆さまと交流を深める場にもなっています。

地域で活動されている団体の皆さまなど、多くの方々にご協力をいただいています。



啓発活動

当法人では「子ども虐待防止オレンジリボン運動」に参加しています。

この運動は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。

オレンジリボン運動を通して子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。



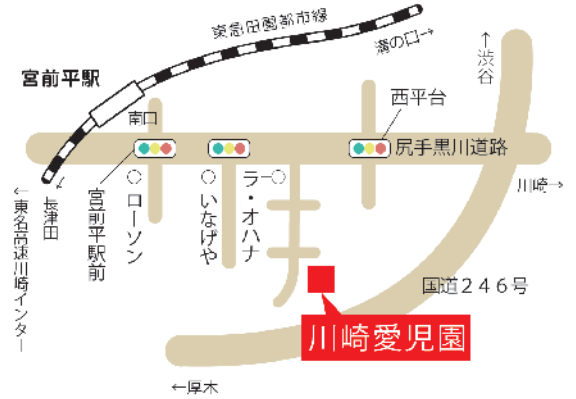
児童福祉施設 川崎愛児園

■ 児童養護施設 川崎愛児園

- 住所 〒216-0035
川崎市宮前区馬絹1-24-5
- 電話 044-855-2591
- FAX 044-865-4445



HPはこちら↑



■ まぎぬ児童家庭支援センター

- 住所 〒216-0035
川崎市宮前区馬絹1-24-5
- 電話 044-863-7855
- FAX 044-865-4445



HPはこちら↑

- 地域小規模児童養護施設 野川つくしホーム
- 地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム
- 地域小規模児童養護施設 生田あやめホーム

- 地域小規模児童養護施設 東有馬叶芽ホーム
- 川崎児童自立援助ホーム 大志
- 川崎児童自立援助ホーム こもれび

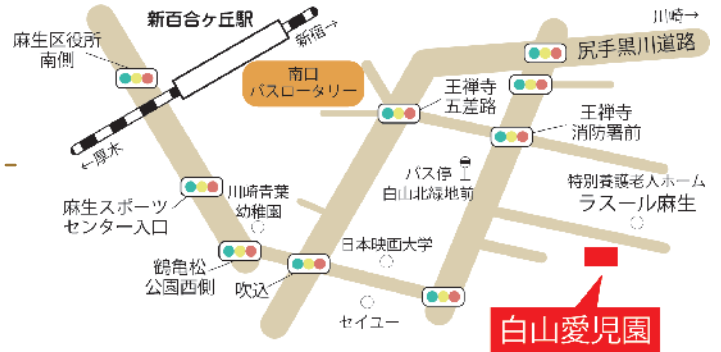
総合児童福祉施設 白山愛児園

■ 児童養護施設 白山愛児園

- 住所 〒215-0014
川崎市麻生区白山1-1-5
- 電話 044-712-4071
- FAX 044-712-4074



HPはこちら↑



■ はくさん児童家庭支援センター

- 住所 〒215-0014
川崎市麻生区白山1-1-5
- 電話 044-712-4073
- FAX 044-712-4074



HPはこちら↑

- 地域小規模児童養護施設 結
- 地域小規模児童養護施設 紬

法人事務局 児童養護施設 川崎愛児園内

- 所在地 〒216-0035 神奈川県川崎市宮前区馬絹1-24-5
- 法人代表連絡先
 - 電話 044-855-2591
 - FAX 044-865-4445



HPはこちら↑